

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 竹内工務店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、ホームページで公開している。月例会議時に唱和し、社員全員で共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		月例会議等において法令順守の重要性を発信し、会社敷地内に掲示をしている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、社員に向けその重要性を会議等で発信している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社長自ら自社事業の社会・環境に与える影響の把握に努め、問題点があれば改善を行っている。そして安全パトロールを実施し、地域に与える影響を最小限に取り組んでいる。また、工事上の問題があれば是正等指示を行っている。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		就業規則にて社員の営業情報等の秘密厳守を明文化しており、月例会議等においても周知している。							8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		情報管理の重要性を月例会議等において周知しており、情報システムへのセキュリティ対策を的確に行っている。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		現場での打合せ時に工事の進捗状況や今後見込まれる問題点などを工事関係者(発注者や監理者、協力業者等)と随時行い、意見交換できる関係性を築けるよう取り組んでいる。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー・事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		協力業者会を結成し、安全作業や品質向上また環境面や倫理面においても適切な対応が出来るよう認識を共有し取り組んでいる。					5			8	10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		金融機関などが主催するセミナー等に参加し、後継者の指導・育成に取り組んでいる。							8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		事務所内の整理整頓と清掃に努め、始業時のラジオ体操や月1回の安全パトロールを行い、業務中の事故防止に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社会保険労務士に相談しながら必要に応じて就業規則を継続的に改定しており、同一労働同一賃金に沿った雇用形態に関わらない社員の公正な待遇を確保している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		残業の事前届出による管理徹底や業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、有給休暇の取得奨励を実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		熊本県建設技術センターや建災防などの講習会受講を促し、その際の費用負担や監理技術者講習(取得・更新)の費用を負担している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人の認定を受けている。健康診断に加えオプション費用や再検査費用、インフルエンザ予防接種の経費助成を行っている。			3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、年齢・性別などの違いによる差別的待遇はない。			4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		社員にPCとスマートフォンを配布し、情報共有ツールや施工管理システムを活用し対面の機会を減らし、オンライン化に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ラインワークスを活用し社員のスケジュール等の情報共有及び業務連絡等の効率化に取り組んでいる。Buildeeを利用し現場管理の効率化を図っている。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業の認定を受けている。			3	4					8	9		12						

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：株式会社 竹内工務店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		作業所のにおいて適切な廃棄物の分別と産業廃棄物マニュフェストにより適正に処理している。有資格者により事前調査を行い法令に基づいた適切な作業・処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用い使用量を把握し、こまめな消灯や空調の使用時間削減等に取り組んでいる。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用い温室ガス排出量を把握し、空調の温度管理を行い、排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		再生クラッシャーラン・再生木材等を使用し、生物多様性の保全に努めている。近年減少しているツバメの保護の為、巣の保護と見守りを続けていくことで生物多様性の保全に取り組んでいる。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		廃材を地域活動に提供している。現場で電子上で手配・確認する施工管理システム(Buildee)を2025年1月から導入し、月例会議等資料の配布中止や、裏紙の利用を促進などペーパーレス化を推進している。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		標識を掲示すると共に、節水コマを使用し使用量の削減に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン購入適合商品(文房具など)やPEPC認証(コピー用紙など)の製品を購入している。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		贈答品等の食品は社員に分配し食品ロスが出ないようにしている。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		会社敷地内の花壇整備を実施している。												11.6 11.7	13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境内で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		『ポイ捨て』されたプラスチックごみが雨・風によって川や海に運ばれないように、会社周辺や現場周辺の清掃を実施し、海洋汚染防止に取り組んでいる。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		自転車通勤・徒歩通勤の社員にも通勤手当を支給している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●													11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：株式会社 竹内工務店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		関係法令の遵守、顧客打合せ等による要求品質の明確化により、建物の安全性と品質向上に努め、年次点検及び継続的なアフターサービスを提供している。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		建物の段差や出入口の巾、手摺の設置等誰もが利用しやすい環境整備を提案している。									9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		『建築の日』清掃ボランティアをはじめ、会社周辺の清掃と町内廃品回収実施の際、車両の貸し出しを実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		社内にハザードマップを掲示し、周知している。建設業協会の災害情報システムを使った防災訓練に参加し意識を高めている。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		日本学生支援機構債(ソーシャルボンド)に投資している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		地域の事業者で構成している団体主催の職業体験(小・中生対象)に参加している。リクナビや業界団体との連携を図り、インターンシップを積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2							17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		企業説明会を実施し、『奨学金返還等サポート制度』の応援枠を設け、県内就職を促進している。				4.4					8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。